

## 設 立 趣 旨 書

平成20年 12月 21日

特定非営利活動法人キャトル・リーフ (Quatre Leaf)

設立代表者 住所又は居所  
茨城県つくば市春日2丁目29番地4  
フォレスト春日306号

氏名

印

### 1 趣 旨

闘病生活を送る入院患者は、家族の元から離れ、病室で、孤独で単調な生活を余儀なくされています。病院は患者の身体的な問題である病気を治療する「医学」の場であると同時に、患者の心理・社会的側面を含めたケアを行う「医療」の場でもあります。しかし、医療現場では「医学」的な問題解決が優先され、本来必要な「医療」の提供が不足することが少なくありません。

「入院患者さんに、病気のことを忘れて過ごす楽しいひとときを提供したい。」そんな願いから、一人の研修医が病院内でのミュージカル公演を企画したことから、キャトル・リーフの活動は始まりました。

キャトル・リーフは、2001年の設立以来、病院や特別支援学校、高齢者福祉施設などで、ミュージカルを上演する活動を行っています。

「久しぶりに（入院中の）父の笑顔を見ることができました」

「妻が動かない左手で一生懸命拍手していました」

「家族で病気以外の話を久しぶりにしました」

「病院にいる事を忘れてしまいました。とても良かったです」

いずれも終演後にいただいたアンケートの言葉です。

「自分の好きなことが誰かの役に立つ」

そんな新しい発見と喜びが、今も、私たちを動かす原動力になっています。

ミュージカルの舞台には、ダンス、歌、物語と、多くの要素が含まれており、老若男女を問わず、人の心を動かす力があります。私たちはこれまでの公演活動を通して、ミュージカルの舞台が観てくださる入院患者さん、施設入所者の方々の生活に彩りを添えるものであることを確信しています。また、客席の皆さんと楽しいひと時を共有することが、上演する側であるキャトル・リーフのメンバーにとっても大きなエネルギーとなることを実感し、観る側だけでなく演じる側も元気になれる、win-winの関係を築いてきました。

今後は、現状から更なる一步を踏み出し、医療の場における「癒し」イベントの取り組みによって、医療現場や地域社会にまで良い影響を与えられる「win-win-win」の関係を構築し続けていきたいと考えています。この活動によって、病院をはじめとした各施設における「癒し」の必要性を啓発し、また、「win-win-win」の精神を地域社会に根付かせることで、地域住民自らによるよりよいまちづくりに寄与し、この活動を全国に発信し広めていきたいと思っています。

私たちの活動は、現在、茨城、東京、埼玉などの地域に公演場所が限られています。施設も、病院と高齢者福祉施設が大半ですが、今後は舞台の質的向上を目指すと同時に、上記目的の実現のため、公演回数を増やして活動の地域を広げ、施設の性格に応じた演目の制作と上演を行っていきたいと考えています。このようにして活動を広めていくために、団体を特定非営利活動法人化し、社会的な信用を得られるよう努力します。また、活動資金の運用についてもクリアにし、団体の運営基板を固めて行きたいと考えています。

## 2 申請に至るまでの経緯

2001年3月 入院患者さんを対象にした病院内でのミュージカルを上演

2001年11月 任意団体「キャトル・リーフ」として活動を開始

2008年4月 特定非営利活動法人設立準備会発足

2009年3月現在までに、約25施設においてのべ157回公演を行う(観客動員数延べ約1万人)